

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	アスベストワカール・プロ 調整液
製品説明	アスベスト簡易測定試薬
会社名	株式会社 ユニケミー
住所	〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬1-11-1
担当部門	技術部
電話番号	(052)682-5069 FAX 番号(052)681-8646
緊急連絡先	同 上

2. 危険有害性の要約

塩化アンモニウム

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性固体	区分外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
酸化性固体	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分4
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入：粉塵, ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A-2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性)
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1(全身毒性)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) 区分1

水生環境有害性(慢性) 区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

軽度の皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い

(気道刺激性)吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ

長期または反復暴露による臓器(全身毒性)の障害

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

アンモニア

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性/引火性ガス 区分1

支燃性/引火性エアゾール 区分外

高压ガス 区分外

金属腐食性物質 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 分類できない

急性毒性(経皮) 分類できない

急性毒性(吸入:ガス) 区分4

皮膚腐食性/刺激性 区分1A-1C

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1

呼吸器感受性又は皮膚感受性 呼吸器感受性:区分1

皮膚感受性:区分外

生殖細胞変異原性 区分2

発がん性 分類できない

生殖毒性 分類できない

標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分1(呼吸器系)

標的臓器／全身毒性(反復暴露) 区分2(肺)

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) 区分1

水生環境有害性(慢性) 区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

加圧ガス：熱すると爆発のおそれ

吸入すると有毒

重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷

重篤な眼の損傷

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれの疑い

臓器(呼吸器系)の障害

長期または反復暴露による臓器(肺)の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

取り扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。

ミスト、蒸気などを吸入しない。

換気の良い場所でのみ使用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しない。

適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。

取扱い後はよく手を洗う。

救急処置

吸入した場合；新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合；口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

眼に入った場合；水で数分間注意深く洗い流す。医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合；汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。痛みやかゆみが残る場合は、医師の手当を受ける。医師の処置を受ける。

保管

容器は密閉して換気の良い冷暗所で施錠して保管する。

廃棄

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

成分名	塩化アンモニウム	アンモニア
含有量	1~10%	1~9.5%
化学式又は構造式	NH ₄ Cl	NH ₃
官報公示整理番号(化審法)	1-218	1-314
C A S N o .	12125-02-9	1336-21-6
国連分類	—	クラス8(腐食性物質) 等級III
国連番号	—	2672

4. 応急措置

眼に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗い流し、医師の処置を受ける。
皮膚についた場合	直ちに大量の水で十分に洗い流す。痛みやかゆみが残る場合は、医師の手当を受ける。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
誤飲した場合	口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法	①速やかに容器を安全な場所に移す。 ②移動不可能な場合は、火災にさらされた表面及び周囲に散水して冷却する。 ③適切な保護具(耐熱着衣)を使用する。 ④消火作業は風上から行なう。
消火剤	水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂などの消火剤を使用する。

6. 漏出時の措置

- ①作業の際には適切な保護具(手袋、保護メガネ、防毒マスク)を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。
- ②風上から作業し、風下の人を退避させ、他漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ③漏洩した液は、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させ、密閉できる空容器に回収する。
- ④回収物等は、関係法規に基づき処置をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

- | | |
|-----|---|
| 取扱い | ①皮膚に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を必要に応じて使用する。
②屋内作業場の場合、適切な排気装置を設け、換気を良くして取り扱う。 |
|-----|---|

- 保 管
- ①密栓して冷暗所に保管する。
 - ②金属製の容器は使用しない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 設定されていない。
- 許容濃度 アンモニア：25ppm、17mg/m³(日本産業衛生学会,2002年)
25ppm、17mg/m³:TLV-TWA (ACGIH,2002年)
- 設備対策 必要に応じて局所排気装置を設ける。
- 保 護 具 防毒マスク、保護服、保護メガネ、ゴム手袋等

9. 物理的及び化学的性質

- 外 観 無色液体
- 臭 気 刺激臭
- 沸 点 約70℃
- 比 重 0.97(20℃)
- 溶 解 度 水：自由に混合

10. 安定性及び反応性

- 安定性 通常条件で安定である。
- 反応性 酸及び酸化剤と接触すると反応する。
- その他 日光、熱を避けて保管する。

11. 有害性情報

- 刺激性(皮膚、目) 目に入ると結膜や角膜が腐食され、視力低下や失明することがある。
皮膚、粘膜に対して腐食性があり、その作用は組織の深部に達しやすい。
- 急性毒性 蒸気を吸入すると、のど、気管支などを強く刺激し、肺水腫、気管支炎を起こすことがある。
アンモニア濃度が100ppmで刺激を感じ、5000~10000ppmで呼吸停止を起こし、短時間で死亡することがある。
塩化アンモニウム：ラット(経口):LD50=1650mg/kg
アンモニア：ヒト(経口):LDL0=43mg/kg
- 慢性毒性 データ無し。
- 変異原性 塩化アンモニウム：染色体異常；ハムスター(生体外)；陽性
- 生殖毒性 データ無し。
- 催奇形性 データ無し。

12. 環境影響情報

- 移動性 データ無し。
- 残留性/分解性 データ無し。
- 生体蓄積性 データ無し。

13. 廃棄上の注意

- ①多量の水で希釈して、希塩酸で中和した後、放流する。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
- ②空容器を廃棄する場合は内容物を完全に除去した後に、産業廃棄物処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

国内規制

船舶安全法	アンモニア：危規則第3条危険物告示別表第3 腐食性物質
航空法	アンモニア：施行規則第194条危険物告示別表第11 腐食性物質
国連分類	アンモニア：クラス8(腐食性物質) 等級III
国連番号	アンモニア：2672

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に際しては直射日光を避け、容器に漏れのないことを確認して転倒・落下・損傷がないよう、積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法（P R T R）	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	アンモニア:政令別表第3 特定化学物質等障害予防規則(第3類物質) 塩化アンモニウム、アンモニア：施行令第18条の2 名称等を通知すべき有害物(政令第97、39)
大気汚染防止法	施行令第10条 特定物質
悪臭防止法	施行令第1条 特定悪臭物質

16. その他

記載内容の問い合わせ先

(株) ユニケミー 技術部 TEL.052-682-5069

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、製品を取り扱う事業者提供されるものです。この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。

取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。

また、含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。